

ごみ この一年

「福生市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」がスタートし、1年が経過しました。

この条例は、ごみの発生抑制と再利用、再資源化の徹底を基本理念におき、これまでの条例を全面改正したものです。事業者の皆さんはごみになるものを作らない、市民の皆さんはごみになるものを買わない、そして市はごみを資源に循環する「リサイクル型まちづくり」をめざす。市民も事業者も行政もそれぞれに、ごみの減量リサイクル促進の役割が設けられています。それでは、この一年間、どんなことをしてきたでしょうか。



清掃だより
No.50

福生市民部
清掃課
平成6年7月15日発行

■市民は

1. ごみと資源を分別した。
2. 資源集団回収を行なった。
3. 生ごみを堆肥にして再利用している。
4. 焼却器を使って、ごみ減量をした。
5. ガレージセールに参加した。
6. リサイクル商品を選んで使っている。

■事業者は

1. 洗剤などのプラスチック容器の他に詰め替え用の商品を作った。
2. トイレットペーパーなど再生品を販売するようになった。
3. 市が行なっている、牛乳パックや発泡スチロールトレイなどの回収拠点として協力している。
4. ごみを焼却場まで自分で運んでいる。
5. 簡易包装に努めている。

■行政は

1. 資源集団回収団体に積極的な支援をしている。
2. 生ごみ堆肥化容器の無料貸出を行なっている。
3. 家庭用ごみ焼却器購入補助金を交付している。
4. 牛乳パック・発泡スチロールトレイの回収を行なっている。
5. 廃棄物減量等推進審議会・推進員制度を新設し、市民ぐるみでごみ問題に対処している。

■ごみの量も少し減っています

	収 集 量	資 源	実質ごみ量
平成5年度	21,918	2,038	19,880
平成4年度	21,310	1,221	20,089
比 較	2.9%増	66.9%増	1.0%減

資源の回収量が増えたことにより、実質的なごみの量は前年度より減少しました。



ごみ減量の取り組みとして店頭でも詰め替パック・野菜の束売り・ばら売りが多くみられるようになった。

日の出町谷戸沢広域処分場へ燃やせないごみの搬入開始

市の燃やせないごみの埋立地が満杯となったため、7月1日から日の出町にある谷戸沢広域最終処分場へ燃やせないごみも搬入されています。

この埋立地は27市町で使用し、各市町には埋立量が割り当てられています。この配分量は確実に守らなければなりません。そのためには、市民・事業者・行政のそれぞれが工夫をこらし、ごみの減量に努めていくことが必要です。

市民のみなさん、事業者の皆さん、これからもごみの減量、リサイクルにご協力をお願いします。

※この用紙は再生紙を使用しています。

この一年、市民・事業者・行政が、
ごみ減量のために行なったこと



やっぱり 集団回収は リサイクルの 命綱

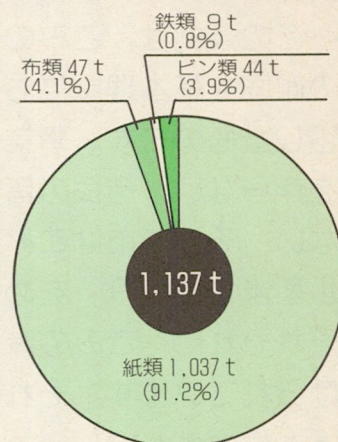
集団回収の実績回収量1137トン

資源回収実施団体

平成5年度、町会、PTA、子供会、スポーツ団体など67の団体により延べ184回の集団回収が実施されました。

多くのみなさんの参加、協力により収集量も前年度比で10.4%も伸び、地域の代表的なリサイクル運動としてさらにその期待は大きくなっています。

「資源回収実施団体」回収量



こんな 集団回収の メリット

- ▶ 家庭から出るごみが減る。
- ▶ 資源が大量に効率良く集まる。
- ▶ リサイクルの意識が高まる。
- ▶ 家庭、地域のコミュニケーションを深める。
- ▶ 街の環境美化につながる。
- ▶ 売上金や報償金が有効活用できる。

生ごみ堆肥化容器貸出 貸出件数147件

平成5年度もたくさんの申し込みがありました。現在455世帯でご利用いただいています。

生ゴミ堆肥化容器

**無料
貸出中!!**

生ごみも
有効活用する
家庭が
ふえてます。



拠点回収の実績

回収量

- 牛乳パック……………12 t
- 発泡スチロールトレイ……………3 t

平成5年7月からスタートしたトレイの回収。軽い割にはかさ

張り、ごみとしてはやっかいもの、そして貴重な資源です。みなさんのおかげでごみにならずに済みました。枚数にして牛乳パックは約36万枚、トレイは68万枚。ご協力ありがとうございました。



1712袋のトレイが
リサイクルされました

資源を守るリサイクル



平成5年度、集団回収、資源の日、拠点回収により回収された古紙の総量は1910トン。直径14センチ、高さ8メートルの立木を、1年間でわたしたちは、3万8千本も救ったことになります。

平成5年度のリサイクルに関するデータを紹介しましたが、もちろん、これ以外にも「ごみにしない」「ごみをださない」工夫をいろいろ実践してくださったことと思います。

ごみを減らすことは、資源の使い捨てを止め、地球環境を守っていくことです。

今までのライフスタイルを見直し、便利さやイメージにとらわれることなく、地球にやさしい、リサイクル商品（再生トイレットペーパー等）を積極的に選択し、生活の中に取り入れていくことが大切です。

リサイクル型社会を目指し、みなさんの一層のご協力をお願いいたします。